

神戸市外大だより

VOL.223
Winter

第12回 全国大学生マーケティング・コンテスト (MCJ) 決勝大会報告 ～外大チームが4年ぶりに入賞～



2023年12月9日(土曜)に大学生がマーケティングプランを英語で発表し競い合う「第12回全国大学生マーケティング・コンテスト (MCJ: Marketing Competition Japan)」の決勝大会を株式会社エコロジー (ecologie Inc.) のご協力のもと、神戸市外国語大学で開催しました。本学はこの大会を通して、参加学生の分析力、思考力、想像力、企画力、発信力、英語プレゼン力の向上を図るとともに、ビジネス課題の解決に実践的に取り組むことによって社会への貢献を目指しています。

【4年ぶりに本学出場チームが入賞!】

第12回目を迎える今年の大会は、「日本とASEAN市場における昆虫食(コオロギ食)の普及・売上拡大～循環的・持続的な食糧供給への挑戦～」という極めて難しいテーマであったにも関わらず、9大学21チームから応募がありました。

書類と動画による予選を行い、関西大学、神戸市外国語大学、神戸大学、専修大学、東京経済大学、法政大学の6大学から8チームが通過しました。決勝大会当日は、辞退した神戸大学を除く5大学7チームが集い、世界で注目されている「昆虫食」を題材とし、さらなる製品ラインアップの充実とコオロギ食文化の普及に向けた、斬新で意欲的なプレゼンテーションを繰り広げました。

優勝は法政大学の「Coro-Chan」、2位は神戸市外国語大学の「Game Changers」、3位に関西大学の「Quello di Quello」が入賞しました。

神戸市外国語大学
出場チーム



[Game Changers]



[Maple Trinity]

インタビュー /



Q1. 2位入賞となった感想をお願いします。

小野さん 練習通り発表したら入賞できると信じていたので、緊張せずにチーム全員でやり切りました。

大日向さん 正直に言うと2位という結果は悔しくて、自分の発表で悔いが残る部分があります。来年の出場に向けて頑張ります。

池田さん 発表がスムーズに進み、自分たちの案がはっきりと伝えられたなと発表後に感じていたので、優勝できるかなと思っていたのですが、2位という結果で悔しかったです。評価してもらえたという意味では嬉しかったです。

妹岡さん 準備をたくさんして自信を持って挑むことができたので、2位という結果が悔しいというのもあるけれど、自分たちの努力が目に見える結果になって嬉しかったです。

Q2. 決勝大会に向けてどのように準備してきましたか？

妹岡さん チームで集まって話し合いを重ねてきましたが、学年がばらばらなこともあり、それぞれが授業や就活などで忙しく予定が合わず、各自で持ち帰って作業をすることも多くありました。

池田さん 週に3回のペースで集まったり、大会直前は発表の様子を動画撮影し、それを見返して改善点などを試行錯誤したりしていました。

Q3. この経験を踏まえて、今後挑戦してみたいことは何かありますか？

大日向さん 決勝大会後の懇親会で、審査員の方から他のビジネスコンテストの存在について伺いました。将来起業したいという気持ちがあるので、MCJに限らずその夢を実現させられるような様々なコンテストに参加しようと思います。

小野さん 自分がチームリーダーを担当していて、メンバーに無理を言うこともありました。厳しい期限を設定したり、唐突な和訳の依頼など…それでも僕についてきてくれて、このメンバーだから獲得できた2位だと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。改めてチームワークの重要性を再確認しました。



◀2位入賞の Game Changers
(神戸市外国語大学)

左から
妹岡奈々海さん(英米学科 1年生)
大日向佑月さん(英米学科 1年生)
池田紗希子さん(国際関係学科 3年生)
小野公由樹さん(英米学科 4年生)



本大会の様子は、
MCJ公式 YouTube チャンネルにて
公開中です。

CONTENTS

- | 01. MCJ 決勝大会開催報告 | 02-03. 語劇祭開催報告 / 学生支援班からのお知らせ
- | 04. 模擬国連派遣報告 / 学園まちピカ大作戦 | 05. おしごと図鑑
- | 06. 講演会開催報告 / 魅力発信事業開催報告 / 出版物紹介